

オリーブだより



第5号 令和3年11月15日

流山市シルバー人材センター女性部会 発行

TEL 04-7155-3669 FAX 04-7154-1839

オリーブの花言葉は「平和」・「知恵」
一年中緑の葉をつける姿が美しく
幸せを呼ぶ木 にあやかりたいと名付けました



ふれあいの家（オリーブ）【みんなで何かをやろう会】開催

9/17(金) 布草履作り



緊急事態宣言が解けず、ふれあいの家の活動も停滞しているこの時期にできることを模索し、お客様をお迎えした時の為に『布草履作り』と『多肉植物のサンドアレンジ』の講習を行いました。講師は部会員の立石さんと倉野さん。部会員の親睦にもなりとても有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

10/9(土) 多肉植物のサンドアレンジ



職場訪問 「木の図書館で働く女性たち」



流山市立
木の図書館

流山市名都借 313-1



左から
小西多恵子さん・黒澤満里子さん・石田香寿美さん・松丸澄子さん・小林登志江さん

9/27(月) 木の図書館で働く皆さんにお会いしました。

石田班長始め、小西さん・松丸さん・黒澤さん・小林さんの5人で館内掃除を担当しています。

図書館内掃除及び庭の掃除（芝刈り機を使っての仕事もあり）女性の仕事としては結構ハードに感じて伺ったところ『できる人ができる事をやるのよ!』というお互いを思いやる助け合い精神のチームワークに感心しました。『仕事をしていて良かったと思うことは?』との問いに、『3時間の仕事は自分の趣味とのバランスがちょうど良い。健康を維持でき、仕事仲間との繋がりが楽しい。市役所出張所の皆さん達とも仲良くしてとても良い職場。そして私たち5人全員がずっと働きたい職場です』と笑顔で答えてくれました。

コロナ禍の今は無理ですが、定期的にOBにも参加していただき食事会を行っているそうです。このようなちょっとした心遣いが生きている職場は楽しい筈ですね。

木の図書館の館長大信田様からも「皆さんとても良く頑張ってくれています」との言葉をいただきました。

木の図書館で働くみなさん、これからも頑張ってくださいね。



4 地区 飯野征男様からお寄せいただきました。素敵な『絵手紙』をありがとうございました。

編集後記：

部会員による布草履作りを行いました。布草履が完成した喜びと皆で触れ合うことがこんなにも楽しいことかと改めて実感した一日でした。

土屋千恵子

編集委員：小高由美子・土屋千恵子